

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報や研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和4年3月10日一部改正)」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会下さい。

[研究課題名] 肝細胞癌における EB1 と OATP1B3 の分子病理学的関連性の解明

[研究責任者名・所属] 武富 紹信 (北海道大学病院消化器外科 教授)

[研究責任機関の長の氏名] 北海道大学病院 渥美 達也

[研究の目的] 肝細胞癌における EB1 と OATP1B3*の分子病理学的関連性を解明

* EB1 (End-binding 1) とは微小管関連タンパク質の一つであり細胞の分裂などに関与します。OATP1B3 とは、肝細胞に現れる遺伝子のひとつです。

[研究の方法]

対象となる患者さん

肝細胞癌の患者さんで、2008年1月1日から2017年12月31日の間に当院で肝切除の治療を受け、～手術組織提供および血液提供について～(Tissue Bank 参加について)又は「ヒト由来組織、細胞リソースの集積を目的とした臨床情報管理システム(Tissue Bank)の構築」の同意説明にて検体保管と研究への利用に同意された方

利用する検体・情報

検体: 手術で切除された組織の一部(以前に研究用としての保管に同意いただいた分)

情報: 診断名、年齢、性別、検査結果(血液検査、画像検査、病理検査)、治療後の経過・転帰

[研究実施期間]

実施許可日～2027年3月31日

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの情報と検体に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術

雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報と検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道大学病院消化器外科 I

担当医師: 小林 正幸

住所: 北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

電話: 011-706-5927 FAX: 011-717-7515